

日本遺産
in 守山



下新川神社境内で営まれるすし切り神事



すし切り祭り (幸津川町)

800年の伝統に湖国の食文化残る

国選択無形民俗文化財「近江のケンケト祭り・長刀振り」の一つとされる祭礼です。

幸津川町の地名を授けた下新川神社の祭神豊城入彦命に、裨姿の若者が、長い箸と包丁で鮎ずしを切り分けて奉納する「すし切り神事」が有名です。

発祥は古代にさかのぼるといわれる鮎ずし、かんの舞、勇壮な深夜の神輿練りなど、800年間続くといわれるに相応しく、すし切り神事のほかにもたくさんのお祭りがあります。

幸津川町
伊藤五作自治会長のコメント

すし切り祭りは幸津川町の大切な伝統祭礼ですが、少子高齢化の進む近年は伝統を守り続ける苦勞や不安も大きくなってきました。

一方で、すし切り祭りのほかにも、幸津川町には稲荷祭りやちまき祭りなど多くの伝統文化があります。多くの人に我がまちに伝わるといってほしいと、下新川神社境内に「さづかわ伝統文化保存館」を作りました。興味のある方は連絡のうえ、お越しください。

050800120000



*緑の葉と水の雫をモチーフにした守山ブランドのロゴマークです。小さな活動が種となって、大きく育つ「守山」をイメージしてタイトルをつくりました。

還暦野球「玉津クラブマスターズ」
夢の甲子園で投げた、打った、走った

おじいちゃんの甲子園大会、優勝目指して始動



昨年、全国478チームからの選抜で甲子園の土を踏み、準優勝に輝いた「玉津クラブマスターズ」は、守山中学校出身者を中心に市内外の28人が野球を楽しんでいるクラブです。還暦野球ですが、ひとたびユニホームを着れば心は皆、甲子園に憧れ続けた高校球児です。

今年もブロック優勝を果たして、早や甲子園の切符を手に入れました。

メンバー全員が「体力維持と、一日でつかひ」が「勝利を掴むチームプレーの秘訣」とメンバーは話していました。石井 公雄監督はチームについて「ねちっこい野球で1点、1点着実に取る野球が持ち味。せっかくなら長く甲子園を楽しみたいし、全員プレーのチーム力で今年こそ、おじいちゃんの甲子園大会で優勝を目指したい」と話していました。

も長くプレーを楽しみたい」という気持ちを持ち続ける事がモットー。それが勝利を掴むチームプレーの秘訣だとメンバーは話していました。石井 公雄監督はチームについて「ねちっこい野球で1点、1点着実に取る野球が持ち味。せっかくなら長く甲子園を楽しみたいし、全員プレーのチーム力で今年こそ、おじいちゃんの甲子園大会で優勝を目指したい」と話していました。